

奈良県の労働市場の動き（平成29年8月分）

- 有効求人倍率（季節調整値）は、1.33倍で、前月より0.03ポイント上昇し平成の最高値を更新しました。前年同月比では、0.20ポイント上回りました。
- 全国は1.52倍で、奈良県は0.19ポイント下回りました。
- 近畿ブロックは1.47倍で、奈良県は0.14ポイント下回りました。
- 有効求人（季節調整値）は、24,204人、前年同月比で9.7%の増加となりました。前年同月比では、28か月連続の増加となりました。
- 有効求職者数（季節調整値）は、18,264人、前年同月比で6.5%の減少となりました。前年同月比では、74か月連続で減少となりました。
- 新規求人倍率（季節調整値）は2.04倍でした。前月より0.06ポイント上回りました。
- 新規求人（季節調整値）は、8,963人、前年同月比で13.0%の増加となりました。前年同月比で、5か月連続の増加となりました。

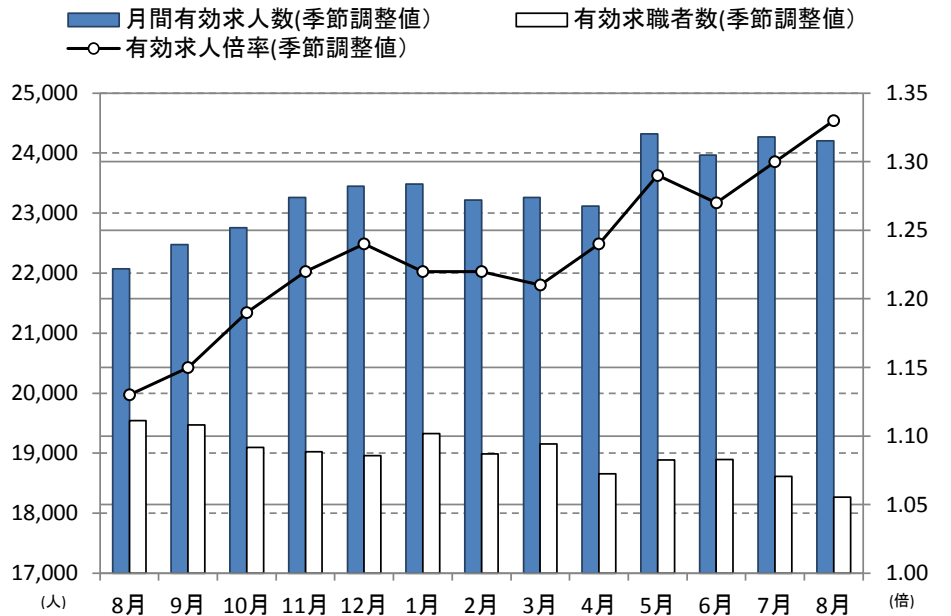
主要産業の新規求人状況を前年同月比で見ると、「建設業」、「運輸業、郵便業」、「医療福祉」、「サービス業(他に分類されないもの)」、「卸売業、小売業」、「宿泊業、飲食サービス業」において増加し、「製造業」で減少しました。

建設業(前年同月比18.3%増)、
製造業(同8.1%減)、
運輸業、郵便業(同7.8%増)、
卸売業、小売業(同8.9%増)、
宿泊業、飲食サービス業(同24.5%増)、
医療、福祉(同16.1%増)、
サービス業(他に分類されないもの)(同1.9%増)

- 新規求人（原数値）のうちパート求人は4,274人でした。パート求人の比率は48.9%でした。
- 新規求職者（季節調整値）は、4,389人で、前年同月比で5.1%の減少となりました。前月に比べて1.3%増加しました。
- 雇用保険受給資格決定件数は1,110件でした。前年同月比で5.7%の減少となりました。
- 雇用保険受給者実人員は4,601人でした。前年同月比で6.7%の減少となりました。

(注) 求人倍率(季節調整値)については、季節調整替えが行われ、平成28年12月以前の数値は改訂されております。季節調整法センサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)により改訂。

月間有効求人・有効求職・有効求人倍率の動き(パートを含む)



今月の年齢階層別有効求人・有効求職状況(常用・パートを含む)

